

かしの木

● 第24号 ●

社会福祉法人
せたがや檜の木会
広報紙第24号
2019.2月発行

平成三十年度を振り返って



理事長 岩井 雄一

平成三十年度末まで一カ月余りとなりました。今年度も多くの皆様に支えられ、事業を継続することができたことに関係の皆様にはあらためて感謝申し上げます。

今年度の事業を振り返ってみると、まず就労継続支援B型の事業所において、昨年从今年にかけて区の「工賃向上推進事業」を受け、専門家の指導を受けることや備品の購入などを通して工賃の向上を図ってまいりました。また、いずれの事業所においても地域や関係機関との連携、社会福祉実習生や介護等体験生、ボランティアさんの受け入れ等開かれた事業所を目指した取り組みをしてまいりました。

昨年の社会福祉法人制度の改正による規約や体制の整備が引き続き課題となりました。また、有資格者の配置による報酬改定への対応、支援員の定数がなかなか充足できなかったことなどがあります。職員募集は年間を通して行うことになり、求人方法やホームページの活用などの工夫をしてまいりましたが大変困難な課題でした。皆様のお知り合いでいい人がいましたら是非ともご紹介をいただければ幸いです。

さて、来年度に向けての取り組みでは、まず大原福祉作業所の移転があります。旧守山小学校の校舎の改築工事も進み、三階部分1フロアを使って新しい「まもりやま工房」が四月からスタートします。保育園や地域交流施設と一緒に校舎を使うことになり、大原で培ったコーヒーを生かしての喫茶サービスなど、新たな地域の皆様とも交流が図れることを期待しております。また、法人といたしましてもこの新しい作業室を活用した就労継続支援B型事業所の連携による共同受注や共同作業も検討しているところであります。定員も増え、活気も出てくると思われれます。「まもりやま工房」よろしくお願いたします。

また、世田谷区の地域障害者相談支援センターのプロポーザルの募集がありました。せたがや檜の木会としては、これに応募をし、砧地区のセンターを受託しました。これまで「相談支援センターあい」が進めてきた世田谷区指定特定相談支援事業と合わせて、これまで以上に相談支援の体制を充実させ、取り組みを進めていきたいと考えておりますのでよろしくお願いたします。

懸案であったご家族や地域の意見を法人運営に生かしていくための「せたがや檜の木会サービス向上委員会」は、関係の皆様のご協力により、立ち上げることができました。開かれた法人として社会福祉法人が求められるサービスの向上や社会貢献等についてもご意見をいただきながら進めていきたいと考えています。

社会の変化は激しく、これに対応するための制度の改正等も予想されます。課題は山積ですが、親の会を母体として立ち上げられた法人としての役割を着実に進めたいと考えます。関係の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



成人の日を迎えて

～成人された皆さんの思いをのせて～



作品名：

「ショートケーキ」

『もうすぐ誕生日だね、
ケーキでお祝いしようね』



作品名：

「犬」

『今日のしっぽはどっち向き？』



作品名：

「しもまるくとなかまたち」

(「20歳になったら、何がしたいですか？」
の問いに)

『人生、おもしろいから生きたいの。
スキって言いたい』



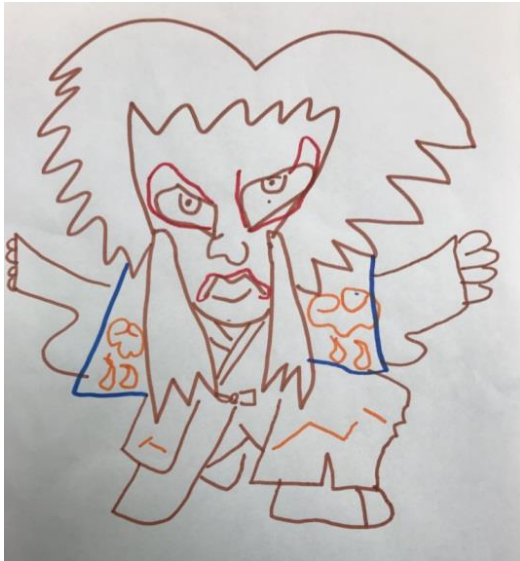
題名：

「大好きなでんしゃ」

作品者より一言：大好きな「でんしゃ」を職員と一緒に頑張って描きました。

作品者に関して一言：

「でんしゃ」が大好きで、いつも伝えたい気持ちをたくさん言葉にして伝えてくれます。素敵な笑顔に職員は癒されています。



題名：

「歌舞伎」

好きな絵のなかでも特にお気に入りです。



○いってみたいところ

- ・ディズニーランド
- ・ウズベキスタン

○なりたい・やってみいたいこと

- ・しょくいんになりたい
- ・(やきがしの)あじみがしたい

○もしもしょくいんになったら

ざんぎょうあるし、みんなと
なかよくできなきゃこまるよ ・つらいね…。



題名：

「英語も得意、絵も得意」

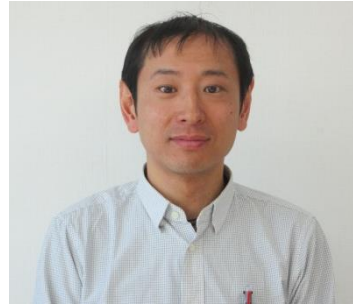
ABC... Zの頭文字のものをさっと描ける
才能、ステキです。

相談支援センターあい所長に

就任して

相談支援センターあい

中川 邦仁丈



今年度の七月より相談支援センターあいの所長に就任いたしました。

檜の木会に平成十七年に入職し、千歳台福祉園、わくわく祖師谷B型の支援員を経て、平成二十四年十月に相談支援センターあいの開所以降、相談支援専門員として計画相談支援事業を行って参りました。開設から六年半事業を行い、職員を増やししながら、契約者も増やし今日に至るまで二五〇名の方々の支援を行って参りました。赤字覚悟の事業として始め、今では赤字を最小限にする事が出来るほど、事業は軌道に乗っています。障害当事者、家族の支えとなれるように、居宅介護支援（介護保険のケアマネージャー）、障害区分認定調査（世田谷区の委託）

を受けて幅広く事業を行っております。小児から高齢者まで障害種別を問わず支援を行う事で地域の課題に直面し、法人として何が出来るかを考え、砧地域相談支援センターの区委託プロジェクトを受けました。受託後は地域の包括的相談窓口として、地域で障害当事者の方々が安心して暮らせる街づくりを目標に邁進して参りたいと思います。今後ともよろしくお願ひします。

作品名

「夢の結婚式」



平成30年度 事業所祭り (下半期)

わくわく祖師谷 砧地域支えあいフェスタ2019

平成31年3月2日(土)

10:00~14:30

下馬福祉工房 おたがいさまフェスタ2019

平成31年3月10日(日)

10:30~15:00



リーフレットによる寄付金報告 (平成30年6月～12月)

下記の方々から貴重なご寄付をいただきました。
深く感謝申し上げます。

青海 政左子 様
大場 弘 様
他匿名希望8名様

五十音順

合計 10名様

総額 136,790円 (手数料除く)

皆様の暖かいご寄付、ご支援に心より感謝いたします。
頂いた寄付金につきましては、今後の法人運営に役立ててまいります。

社会福祉法人せたがや檜の木会
理事長 岩井 雄一

『大原福祉作業所』おつかれさま、
そして『まもりやま工房』へ

大原福祉作業所
所長 伊能 亮

大原福祉作業所は平成四年に北沢福祉作業所を移転して開設され二十六年目になります。これまで多くの利用者の方々が優しくアットホームな雰囲気の中、クッキーや生キャラメル、そばみそなどを作ってきました。

大原の売りの一つはお祭りの開催でした。毎年恒例の大原まつりでは最初の何年かは「合奏・合唱」を披露し人形劇「アリババと十六人の海賊」も行いました。平成九年から十数年に渡り行われた演劇はご来場の皆さんの感動を呼び、涙する方もいらつしやいました。「沖縄のサザエさん」「ウエストサイドストーリー」「フラガール」「アナと雪の女王」から「まんじゅうこわい」まで幅広い題材を利用者の皆さんが持ち味を發揮し、職員と一体となって練習を重ねた成果に多くの称賛の声があげられました。

平成二十七年に自家焙煎珈琲を作り始めると秋まつりの出し物は演劇から喫茶店「ハネバックス」へと変わりました。利用者の皆さんはエプロン

を付けると表情がきりりと引き締まりウエイトレス、ウエーターとしてしっかりとした接客をされていました。現在は米粉のケーキなど自主生産品の幅も広がっています。

そして、来年の四月に旧守山小学校跡地に移転して新たに「まもりやま工房」として生まれ変わります。今、二十六年の大原福祉作業所の歴史を大事にして行く決意と支えてくださったご家族、地域の方々への感謝の気持ちでいっぱいです。

そして大原福祉作業所職員だった故脇坂勝男様と法人本部の土地、建物を勝男様の意思を汲んで遺贈してくださいましたお母様の脇坂喜代子様のお心を忘れずに「まもりやま工房」を利用者の皆さんが安心して自分の力を發揮でき、地域の笑顔が集まる場所にしていきたいと思えます。

2019年4月より

新住所：
〒155-0033
東京都世田谷区代田
6丁目21番5号

新施設名称：
まもりやま工房

職員人事のお知らせ

職員の昇任

相談支援センターあい

所長（昇任）

中川 邦仁丈

（七月一日付）

新規採用

用賀福祉作業所

支援員

田嶋 直人

（八月一日付）

退職

千歳台福祉園

支援員

山本 翼

（九月十五日付）

今年度は、法人にとって大切な方が亡くなりました。平成三十一年一月、事務局長であった木谷哲三様、また、平成三十年十月には、監事であった大南英明様、両氏とも法人のため一方ならぬご尽力をいただきました。改めてお知らせするとともにお二人のご冥福をお祈り致します。



世田谷区手をつなぐ親の会

知的障害児・者とその家族が、地域で安心して生活できるような社会を作りたいという願いをもって、活動を実施しています。福祉制度やサービスについての研修会や、さまざまな施設の見学会、ホームページの運営による情報発信、区民のみなさん向けに障害理解のための「セータとガーヤの気持ち伝え隊」のキャラバン活動、本人活動「Setagaya アミーゴ」など、いろいろな取り組みを行っております。

ぜひホームページをご覧くださいませ。

作品名

「夢の中のしもまるママ」



編集後記

今号の特集はわくわく祖師谷（生活介護）の紹介です。利用者の皆さんが個々の持ち味を発揮しながら毎日をいきいきと過ごされている姿を想像してみてください。

今年の「成人の日を迎えて」は5事業所7名の方が自分らしさを表現した作品を提供してくれました。みんな違ってみんな良いですね。

広報委員長 伊能 亮

作品名

「しもまるサンシャイン」



せたがや檜の木会広報紙「かしの木」ではご提供いただいた写真、お名前などの個人情報に関し事前に掲載許可をとっております。

編集発行 社会福祉法人せたがや檜の木会

理事長 岩井 雄一

〒155-0033

東京都世田谷区代田1-29-5

TEL 03-5481-1010

FAX 03-5787-4051

E-mail setagaya-kasinokikai@poppy.ocn.ne.jp

URL <http://kashinokikai.net>

かしの木 24号には、喜多見夢工房の方の作品を1点と下馬福祉工房の方の作品を2点提供していただき掲載いたしました。

ご協力いただきありがとうございました。